

世界のカブトムシと そのなかま

カブトムシとそのなかまは、コウチュウ目（甲虫目）の分類群の一つ「コガネムシ科」に属し、種数は世界で3万種以上分布しています。大きさはフンチュウの数mmから大型のカブトムシ「ヘラクレスオオカブト」のように150mmを超えるものまで多種多様で外見も変化に富んでいます。立派な角を持つカブトムシ類やアフリカ大陸に分布する大型のハナムグリ類は特に人気です。世界のカブトムシとそのなかまを次の6グループに分類し展開します。

<目次>

1. カブトムシのなかま	2
2. テナガコガネのなかま	17
3. ハナムグリのなかま	21
4. カナブンのなかま	33
5. コガネムシのなかま	37
6. フンチュウのなかま	43

カブトムシ



(日本 1971 見本)

1. カブトムシのなかま (1)

カブトムシのなかまは世界で約1600種知られ、オスの発達した角が特徴です。体長は約10mmからヘラクレスオオカブトのように150mmを超える大型のものまで生息しています。大型のカブトムシは東南アジア、中南米に多く分布していますが、アフリカには2種分布するのみです。

カブトムシ



(韓国 1994)



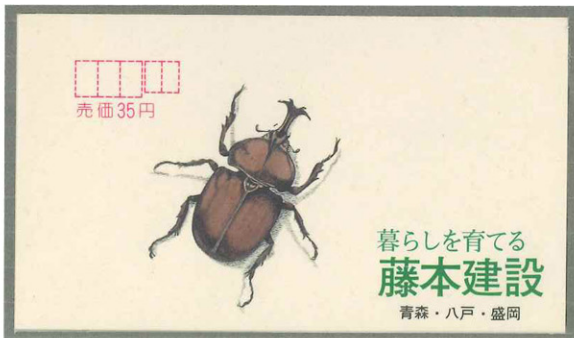
(日本 1976以降)



(北朝鮮 2003)

日本の「カブトムシ」は東アジアを代表する大型の種です。体長は約27~57mm (♂・角含まず)

自然分布の北限は青森県ですが、北海道には人為的に持ち込まれたものが移入種として定着しています。カブトムシ類の中でも最も北に分布する種の一つです。



(日本 1982 エコーはがき)



(台湾 2010 シート地)

1. カブトムシのなかま (2)

カブトムシ



(日本 1977 小型印)



(日本 1980 小型印)



(日本 2002 小型印)



(日本 2000 かめめ〜る九州版、2002 小型印)



(日本 2010 小型印)



(日本 1997 エコーはがき)

1. カブトムシのなかま (3)

ゴホンツノカブト



(ラオス 2002)



(ラオス 2002)



(中国 2023 ATM切手)

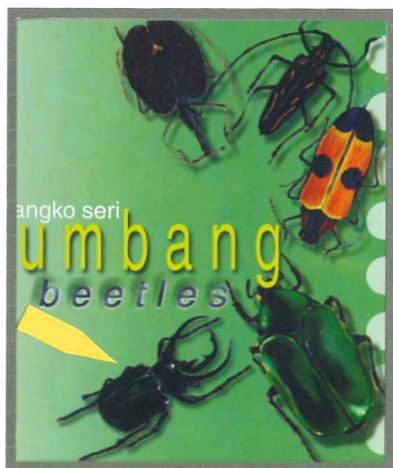
コーカサスオオカブト



(インドネシア 2001)



(インドネシア 2001)



(インドネシア 2001 切手帳表紙)

1. カブトムシのなかま (4)

スマトラオオカブト



(シンガポール 1998 切手帳)

ヒメカブトの一種



(ガイアナ 2020)

アトラスオオカブト



(カンボジア 1998)

メリスカブト



(セントヘレナ 1975)

ヒメカブト



(ギニア 1999)



(マレーシア 1998)



(バヌアツ 1987)

1. カブトムシのなかま (5)

パプアカブト



(オランダ領ニューギニア 1961)



(ソロモン諸島 1991)

パプアマルカブト



(ソロモン諸島 1991)

サイカブト
(台湾カブトムシ)



(英領インド洋地域 1976)



(ウォリス・フツナ諸島 1974)



(トケラウ諸島 1972)



(トケラウ 1998)



(西サモア 1972)

1. カブトムシのなかま (6)

アフリカサイカブト



(チャド 1972)



(カタール 1998)



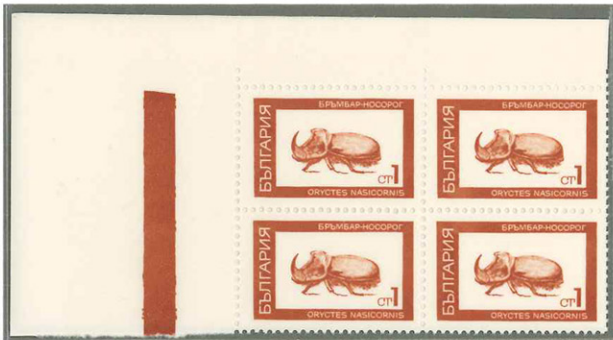
(バルバドス 1990)



(ケニア 2011)

サイカブトの一種

ヨーロッパサイカブト



(ブルガリア 1968)



(スロバキア 2014)



(ルーマニア 切手1996 封皮2005)

1. カブトムシのなかま (7)

ヨーロッパサイカフト



(キルギス 2018)



(モルドバ 2024)



(オーランド 2006)



(ハンガリー 1954)



(ウクライナ 2024)



(マルタ 2005)

1. カブトムシのなかま (8)

ヨーロッパサイカブト



(ポーランド 2018)



(ハンガリー 2010 見本)



(ボスニア・ヘルツェゴヴィナ 2024)



(カンボジア 2000)

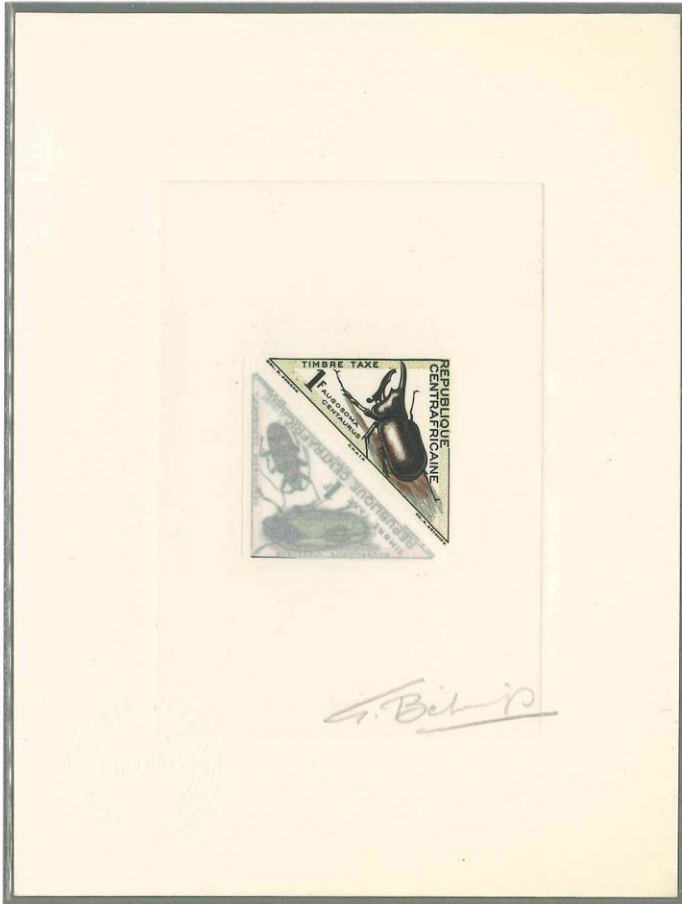


(マケドニア 1998)

1. カブトムシのなかま (9)

ケンタウルスオオカブト

アフリカに分布する大型のカブトムシは「ケンタウルスオオカブト」のみ知られていましたが、1995年に「ニセケンタウルスオオカブト」が発見され、それを加え2種になりました。アフリカで大型のカブトムシが少ないのは、体長100mmを超す「ゴライアスオオツノハナムグリ」を始めとする巨大ハナムグリ類が繁栄しており、そのあおりを受けたのではないかと見られています。



(中央アフリカ 1962 ダイプルーフ)



(コンゴ共和国 1991)



(中央アフリカ 1962 不足料)

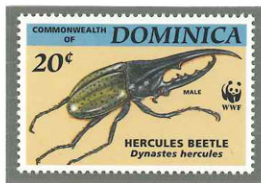


(シエラレオネ 1996)

(幼虫)

1. カブトムシのなかま (10)

ヘラクレスオオカブト (ヘラクレスオオツノカブト)



(ブラジル 1993)



(ドミニカ 1994)



(♀)



(エクアドル 2007)



(グレナダ・グレナディーン諸島 1990)



(セントルシア 2010)



(ニカラグア 2003)

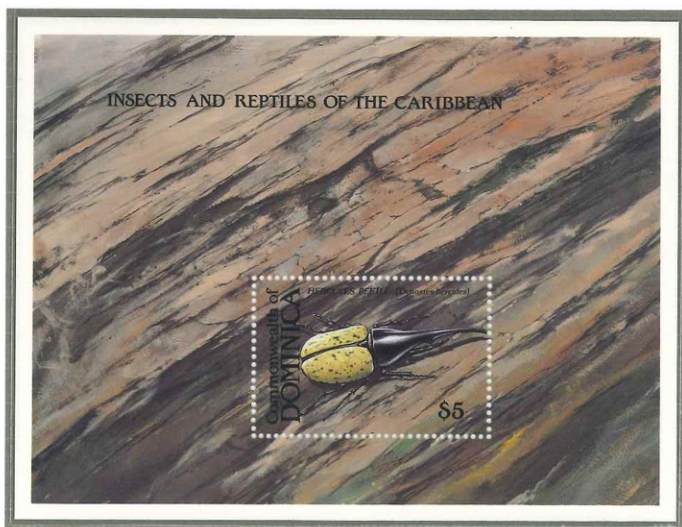
(亜種名：パウドリー)



(ブータン 1997)



(ドミニカ 1992)



(ドミニカ 1988)

1. カブトムシのなかま (11)

ヘラクレスオオカブト
(ヘラクレスオオツノカブト)



(ネビス 2002)



(モンゴル 1991)



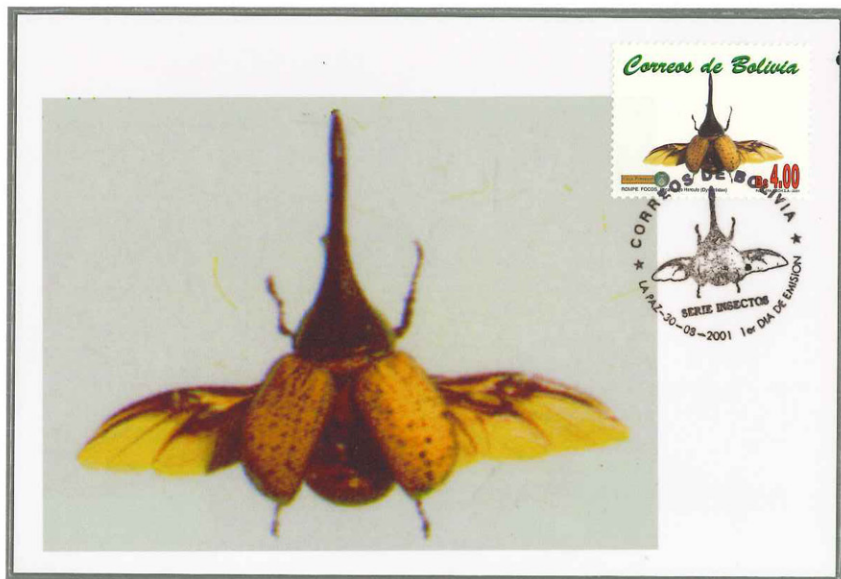
(ペルー 2007)



(日本 2010 小型印)



(ベネズエラ 1998)



(ボリビア 2001)

1. カブトムシのなかま (12)

タテツノカブトの一種



(エルサルバドル 1994)

コスタリカタテツノカブト



(コスタリカ 2017)

アブデルスツノカブト



(ウルグアイ 2013)

ノコギリタテツノカブト



(ニカラグア 2003)

アクエスタテツノカブト



(エクアドル 2007)

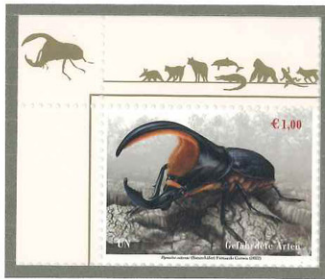
ミツノカブトムシの一種



(ドミニカ共和国 1999)

1. カブトムシのなかま (13)

サタンオオカブト



(国連・ウィーン 2022)



(ボリビア 2015)

ソウカブト



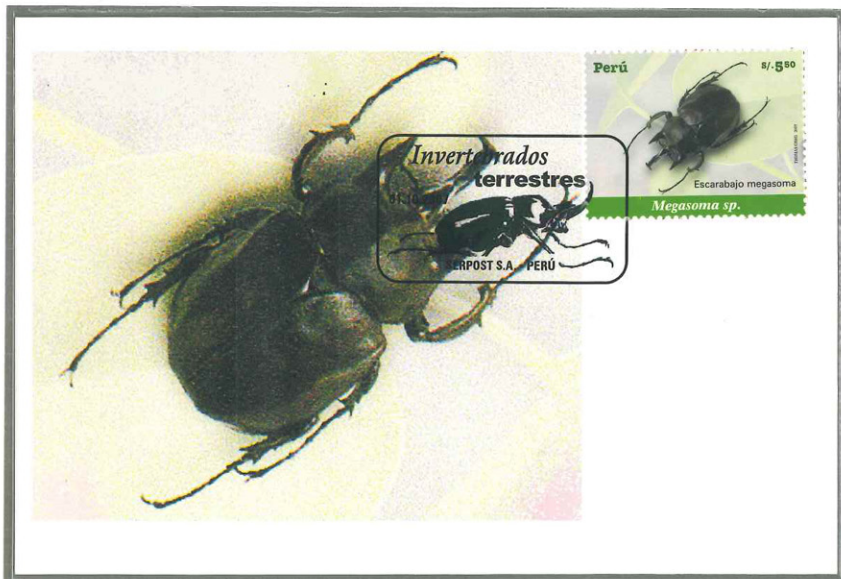
(ベリーズ 1995)



(キューバ 1988)



(ベリーズ 1996)



(ペルー 2007)

1. カブトムシのなかま (14)

ティティウスシロカブト



(アメリカ 1999)



(ガンビア 2022)



(フィリピン 2000)



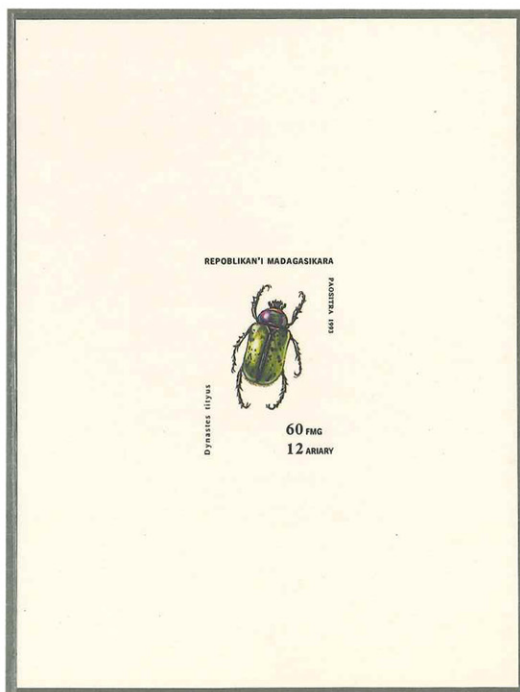
(マーシャル諸島 2002)



(ドミニカ 2002)



(グレナダ 2002)



(マダガスカル 1994 デラックスシート)

1. カブトムシのなかま (15)

グラントシロカブト



(サントメプリンシペ 1996)



(ブータン 1969 3D切手)

コガネカブトの一種

エボシコガネカブトの一種



(ペルー 2018)



(ホンジュラス 2003)

コガネカブト属のカブトムシは、体長が10~20mm程度で、オスでも角が育たない小型の種です。



(ペルー 2018)

2. テナゴコガネのなかま (1)

テナゴコガネのなかまは、雄の前足が非常に長いのが特徴で、前胸には金属光沢があります。台湾、大陸中国南部、インドシナ、チベットの東アジア南部の広葉樹の原生林がある地域に10数種分布しています。日本では沖縄島に「ヤンバルテナゴコガネ」が分布しています。体長は40mmから100mm近い大型の種もいます。

台湾テナゴコガネ



(台湾 1958)

ヤンソンテナゴコガネ



(中国 2023)

2. テナゴコガネのなかま (2)

ヤンバルテナゴコガネ



(日本 1986 小型印)



(日本 1987 みほん)



(日本 2006 小型印)



(日本 2022)

「ヤンバルテナゴコガネ」は1983年に沖縄で発見され翌1984年に新種として記載されました。1985年には国の天然記念物に指定されました。♂の体長は51mm~65mm。「カブトムシ」を抜き日本最大の甲虫として君臨しています。



(日本 1987)

2. テナガコガネのなかま (3)

バタレールテナガコガネ



(ベトナム 2015 無目打)



(ベトナム 2015 特印)



(ベトナム 2015 見本)

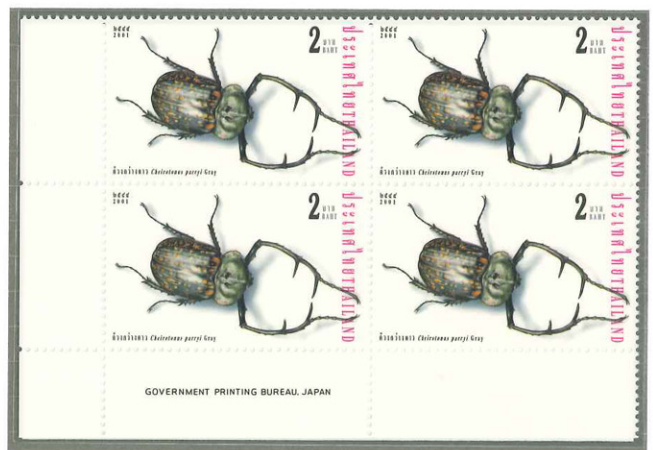
パリーテナガコガネ



(タイ 2001 切手帳)



(タイ 2001 特印)



(タイ 2001)

2. テナゴガネのなかま (4)

マクレイテナゴガネ



(ジブチ 2022)

ゲストロテナゴガネ



(中国 2023 絵はがき 印面ATM切手)

3. ハナムグリのかま (1)

ハナムグリのなかまは、世界で約4000種分布しています。体長はほとんどの種が10mmから40mm程度ですが、アフリカ大陸に分布するゴライアス属は120mmを超える巨大な種も分布しています。体重も100gを超えるものもいます。上翅を閉じたまま下翅を広げて飛びます。花に潜り込み花粉や蜜を食べます。

ゴライアスオオツノハナムグリ



(リオムニ 1965)



(リオムニ 1965)



(ブルンジ 1970)



(ブルンジ 1970 無目打)



(中央アフリカ 1985)



(ブルンジ 1970)

3. ハナムグリのなかま (2)

ゴライアスオオツノハナムグリ



(マリ 1978)



(マダガスカル 1994)



(ザンビア 2005)



(ベナン 2000)



(ベナン 2005 加刷)



(ナイジェリア 1986 目打エラー)

3. ハナムグリのなかま (3)

レギウスゴライアス (ローヤルゴライアスオオツノハナムグリ)



(トーゴ 1955 ダイプルーフ)

ハナムグリ属で世界最大の種です。体長は50~120mm(♂)、体重は100gを超えるものもいます。生息地はコートジボワール、トーゴなど西アフリカ地域です。白と黒のコントラストが美しい。

3. ハナムグリのかまき (4)

レギウスゴライアス (ローヤルゴライアスオオツノハナムグリ)



(トーゴ 1955)



(トーゴ 1955 カラーブルー)



(コンゴ共和国 1991)



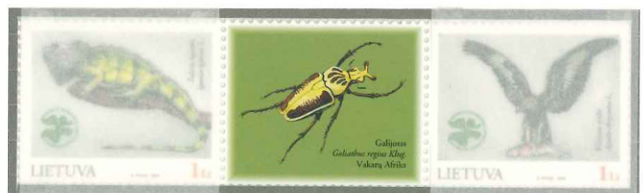
(コンゴ共和国 1998 加刷)



(マリ 1994)



(チャド 1996)



(リトアニア 2004 タブ)

3. ハナムグリのなかま (5)

シラフゴライアス
(シラフゴライアスオオツノハナムグリ)



(ザンビア 2005)



(キュラソー 2013)



(中央アフリカ 1985 無目打)



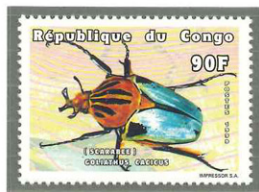
(コンゴ民主共和国 1971)



(コンゴ民主共和国 1971)

3. ハナムグリのなかま (6)

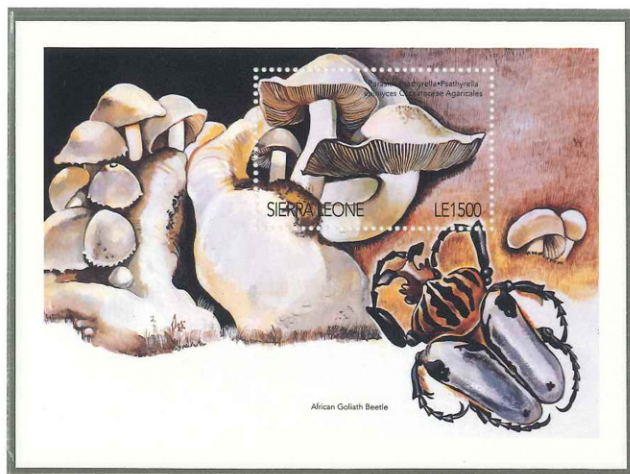
カタモンゴライアス
(カタモンオオツノハナムグリ)



(コンゴ共和国 1999)



(コートジボワール 1978)



(シエラレオネ 1966)



(コートジボワール 1978)

3. ハナムグリのなかま (7)

シロモンオオツノハナムグリ



(中央アフリカ 1985)



(モンゴル 1991)



(コンゴ人民共和国 1970)



(ブルンジ 1970 無目打)



(ブルンジ 1970)



(マリ 1967 デラックスシート)

IMPRIMERIE des TIMBRES-POSTE - PARIS

3. ハナムグリのなかま (8)

オーベルチュールオオツノハナムグリ



(ブルンジ 1970)



(ブルンジ 1970 無目打)

ポリフェムスオオツノハナムグリ



(ザンビア 2005)



(タンザニア 2013)

クビワオオツノハナムグリ



(ルワンダ 1978)

アカオオツノハナムグリ

ツノハナムグリの一種



(ブータン 1969 3D切手)



(中央アフリカ 1985 無目打)



(ザンビア 2005)

3. ハナムグリのなかま (9)

ヒシムネハナムグリの一種



(フィリピン 2000)

カザリハナムグリ



(ベルギー 2019)



(エルサルバドル 1994)



(オーストラリア 2003)

カタモンメンガタハナムグリ

クブレアツヤハナムグリ



(ナミビア 2013)



(ボツワナ 2008)



(オランダ 2006)

ミドリアシナガハナムグリ

ミドリハナムグリ



(ソマリア 1998)



(ユーゴスラビア 1966)



(ラトビア 2019)



(イギリス 2008)

3. ハナムグリのなかま (10)

キンイロハナムグリ



(ウズベキスタン 2016)



(キルギス 2018)



(オルダニー 2013)

ハナムグリの一種



(フィリピン 2010)



(ホンジュラス 2003)



(ニカラグア 1988)



(ケニア 2011)

コアオハナムグリ



(日本 1997)

3. ハナムグリのなかま (11)

バラツヤハナムグリ



(ドイツ 1993)



(リヒテンシュタイン 2007)



(マダガスカル 1994)



(ハンガリー 1980)



(スイス 1957)

オオチャイロハナムグリ

オオチャイロハナムグリの一種



(デンマーク 2022)



(ブルガリア 2020)



(スウェーデン 1987)



(スロベニア 2009)

3. ハナムグリのなかま (12)

トラハナムグリの一種

インカトラハナムグリ



(ドイツ・エルリン地区 1984)



(ルーマニア 1996)

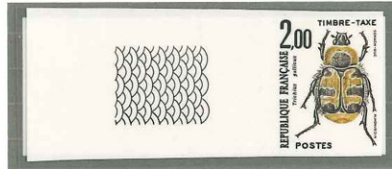


(ウズベキスタン 2012)



(トリニダード・トバゴ 1992)

フランストラハナムグリ



(フランス 1982 不足料 無目打)



(サンピエール・ミクロン 1986 不足料)

4. カナブンのなかま (1)

カナブンのなかまはほとんどの種の体長が15mmから40mm程度ですが、アフリカに分布する種は90mmを超える大型な種もいます。コガネムシと似てますが幼虫は土の中の朽ち木を餌としていて森の分解を助けています。成虫は樹液や熟した果実などを主に食べています。上翅を閉じたまま下翅を広げて飛びます。

シロスジオオツノカナブンの一種



(ボツワナ 2024)



(ボツワナ 2003)



(トンガ 2019)



(ギニア 1999)



(リベリア 2019)



(キュラソー 2013)

ナガツノカナブン



(中央アフリカ 1962 不足料 無目打)

シロヘリミドリツノカナブン



(ジンバブエ 1988)

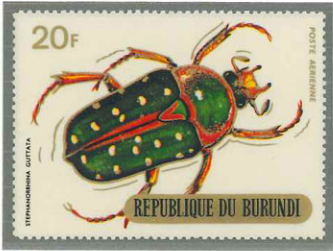
ヨツボシツノカナブン



(中央アフリカ 1962 不足料 無目打)

4. カナブンのなかま (2)

ニシキツノカナブン



(ブルンジ 1970)



(中央アフリカ 1962 不足料)



(コンゴ民主共和国 1971)



(ガボン 1978 デラックスシート)

オオミドリツノカナブン



(ブータン 1997)

ツノカナブンの一種



(モザンビーク 1999)

スタンレーミツノカナブン



(ルワンダ 1978)

4. カナブンのなかま (3)

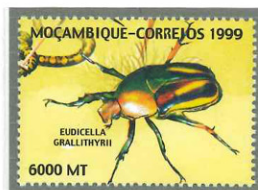
ミスジツノカナブン



(マリ 1994 無目打)



(中央アフリカ 1962 不足料 無目打)



(モザンビーク 1999)



(ルワンダ 1978)



(ザンビア 2005)

ホシボシカナブン



(ギニア 1999)



(ザンビア 1986)



(キュラソー 2013)



4. カナブンのなかま (4)

アフリカオオミドリカナブン



(赤道ギニア 1976)

カナブンの一種



(イスラエル 1994)



(フィリピン 2010)

ヒラタカナブンの一種

オオヒラタカナブン



(フィリピン 2010)

ルソンヒラタカナブン



(フィリピン 2010)



(インドネシア 2001)



(フィリピン 2010)

オオテナガカナブン



(ベトナム 2015 見本)

カンムリシラクキカナブン



(キュラソー 2013)

ニセシラクキカナブン



(ザンビア 1986)

5. コガネムシのなかま (1)

コガネムシのなかまは体長が約6mmから25mm程度です。幼虫は植物の根を餌として成長します。そのため樹木を枯らしてしまいます。成虫は植物の葉を食べるため農作物に害をもたらします。上翅を開いたまま下翅を羽ばたかせて飛びます。

マメコガネ



(スイス 2020)

マメコガネの一種



(ケニア 2011)

マメコガネは日本原産の甲虫です。1916年にアメリカ大陸に上陸し、その後ヨーロッパ各地にも広がっています。英名は「ジャパニース・ビートル」と呼ばれ厄介者として恐れられています。

アニソプリアコガネの一種



(ブルガリア 1964)

5. コガネムシのなかま (2)

ヒゲコガネ



(日本 1987)

ヒゲコガネの一種



(ニカラグア 2003)



(赤道ギニア 1978 無目打)

ヨーロッパヒゲコガネ



(チェコスロバキア 1992 切手帳)



(ハンガリー 1954)



(アルバニア 1963)

5. コガネムシのなかま (3)

ヨーロッパコフキコガネ



(ドイツ・ベルリン地区 1990)



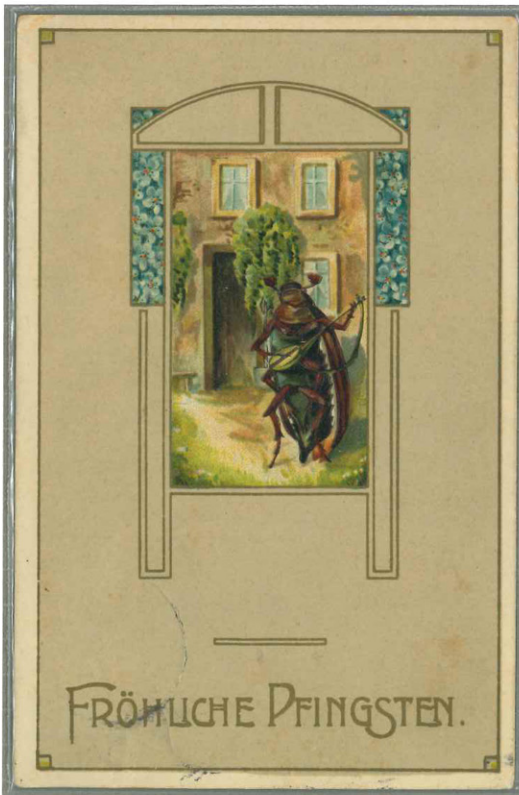
(ドイツ 1993 見本)



(ドイツ 1993 小型印)



(ドイツ 1993 小型印)



(ドイツ 1913 絵はがき)



(絵はがき 宛名面コピー)

ドイツでは、昔も今もコフキコガネを描いた絵はがきを知人友人に送って遅い春の到来を祝い合う習慣があります。
 (西田豊穂著「昆虫郵趣ア・ラ・カルト」より)

5. コガネムシのなかま (4)

ヨーロッパコフキコガネ



(オランダ 2018)



(フランス 2017)



(ベルギー 1996)



(マリ 1977)



(スウェーデン 2013)



(オルダニー 2013)



(ウクライナ 2024)



(アルジェリア 2000)



(ルーマニア 1956)

5. コガネムシのなかま (5)

アシプトコガネの一種



(ホンジュラス 2003)



(ホンジュラス 2002)



(ホンジュラス 2003)

クサイロアシプトコガネ



(ニカラグア 1988)

モモフトコガネの一種



(キューバ 1988)



(ホンジュラス 2003)

5. コガネムシのなかま (6)

ウグイスコガネの一種



(ホンジュラス 2003)



(キューバ 1988)



(キューバ 1988)

コフキコガネの一種



(エルサルバドル 1994)

ムネアカウグイスコガネ



(ニカラガア 1988)

ツノコガネの一種



(ネパール 2006)

ケンランキンコガネ



(コスタリカ 2017)

アドレトウスコガネの一種



(ボツワナ 2024)

アシナガキンコガネ



(モントセラト 1994)



(キューバ 1988)



(エクアドル 2007)

6. フンチュウのなかま (1)

フンチュウのなかまは体長が約5mmから35mm程度です。主に草食動物の糞を餌としています。新鮮な糞の臭いを嗅ぎつけてあちこちから集まってきます。種ごとに糞の好みがあるようです。地上の糞を土に返す大切な存在です。親は土の中に球形の玉(糞玉)を作り、それに卵を産みつけます。孵化した幼虫は糞玉の内部を食い成長し、やがて蛹になり成虫になって地上に出ます。

ニジダイコクコガネの一種



(ホンジュラス 2003)



(スリナム 1993)



(スリナム 2003 加刷)



(マーシャル諸島 2002)



(モントセラト 1994)



(キューバ 1988)



(アメリカ 1999)

6. フンチュウのなかま (2)

ナンバンダイコクコガネの一種



(エチオピア 1977)

ダイコクコガネの一種



(ニカラグア 1988)



(コスタリカ 2003)

ミドリニジダイコク

デモンニジダイコク



(ニカラグア 2003)

ピロイニジダイコク



(ニカラグア 2003)



(ウルグアイ 2013)

チョウセンヒラタコガネ



(韓国 1972)

6. フンチュウのなかま (3)

タマオシコガネの一種



(ナミビア 2008)



(韓国 2023)



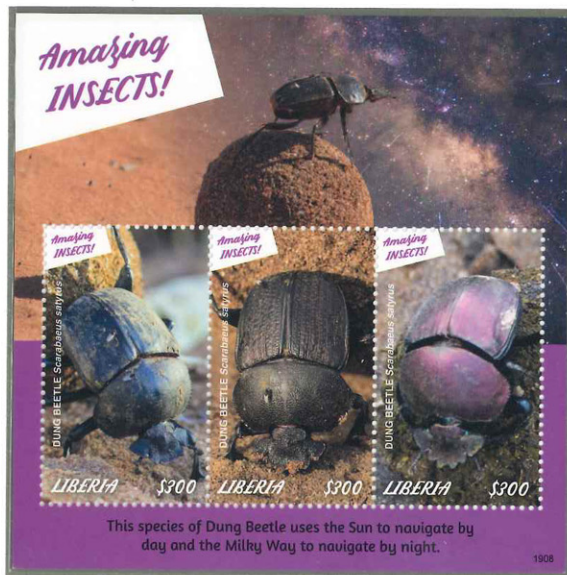
(ボツワナ 1981)



(キルギス 2018)



(アメリカ 2001)



(リベリア 2019)

6. フンチュウのなかま (4)

ヒジリタマオシコガネ



(エジプト 1992)



(エジプト 1981)

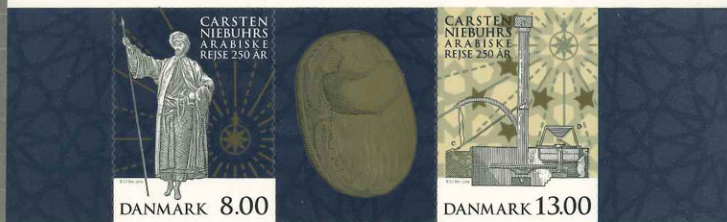
古代エジプトでは、ヒジリタマオシコガネ(スカラベ)が、動物の糞を球形に丸めて運ぶ習性を神秘的なものにとらえ、その球体を太陽に見立て、太陽の運行を司る太陽神と同一視しました。太陽は再生や復活の象徴でもあり、スカラベは聖なる甲虫として崇拜されていました。

右は「デンマーク・アラビア探検250年記念」探検隊員のカーستن・ニーバーは、ほかのメンバーが熱帯病などで命を落とす過酷な環境の中、1761年から6年調査を続け、唯一の生存者として貴重な資料を持ち帰りました。



(エジプト 1997)

CARSTEN NIEBUHRS ARABISKE REJSE 250 ÅR



(デンマーク 2011)

متنان وخمسون عاما على رحلة كارستن نيبور العربية



(エジプト 1983)

6. フンチュウのなかま (5)

ヒジリタマオシコガネ



(ブルガリア 2020)



(フランス 2015)



(ベナン 2000)



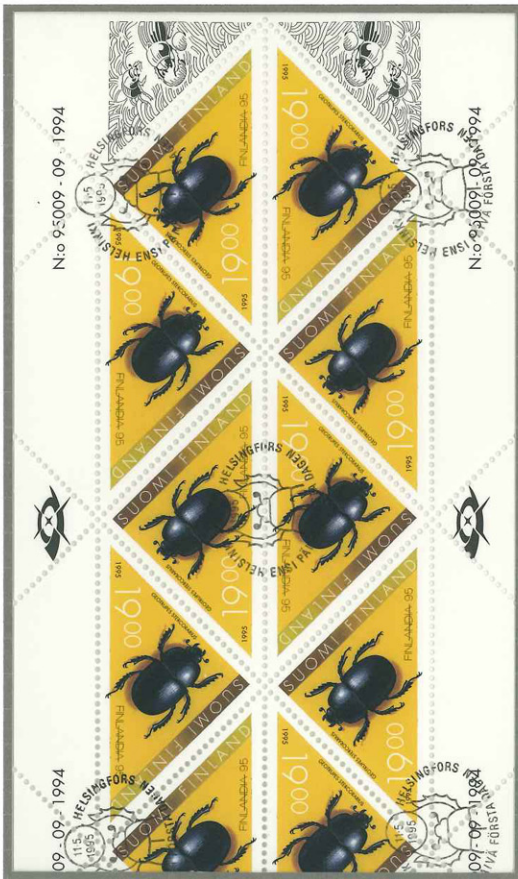
(フランス1956)



(オートボルタ 1981)

6. フンチュウのなかま (6)

スジセンチコガネ



(フィンランド 1995)

ムラサキツノセンチコガネ



(タイ 1989)

ツヤセンチコガネ



(カンボジア 1998)

センチコガネの一種



(トンガ ニウアフオウ 1994 フォトエッセイ)

センチコガネの一種



(ニカラグア 1988)



(マダガスカル 1993)



(トンガ ニウアフオウ 1994 見本)